

# 通信

NO. 37  
平成28年2月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目

33番11-702号

☎092-409-4177

スタ  
コラ

## グローバル 化の意味

森本信明

琴奨菊の優勝は嬉しいニュースでした。

日本出身力士として10年ぶり。なんといっても柳川出身というのがいい。

また、唯一今場所で琴奨菊に土をつけたのが豊ノ島。小学生のころからのライバルの豊ノ島戦で負けていなければ、千秋楽までハラハラドキドキすることはなかった筈で、こうした物語も今回の優勝を彩りました。

優勝の翌日、届いたメールマガジンの一つに「大相撲とグローバル化」と題されたコラムがありました。

コラムの要旨は、以下のような感じです。

“過去にいくつかの問題を抱え、一時期、凋落していた相撲界だが、関係者の努力によって人気が復活した。日本人力士対外国人力士という構



今年も、鹿島祐徳稲荷神社の節分祭に出かけた。多数の善男善女と一緒に豆まきに参加して“福豆”をいただいた。

鬼は外  
福は内  
鹿島祐徳神社の節分祭

図が人気の要因の一つ。異文化を受け入れるためには軋轢もあるだろうが、早くからグローバル化を受け入れることで成功した。”

私が気になったのが「グローバル化」という言葉の使い方です。外国人を受け入れること、異文化を受容することを「グローバル化（を受け入れる）」と呼んでいます。

大きな違和感を覚えたので、一般に「グローバル化」とはと検索してみると“他国の情勢を無視できない流れ、産業の地球規模化、国家間の障壁が少なくなること等”が「グローバル化」の意味でした。この意味で上のコラムでの使い方はごく自然です。

今まで、私の中で「グローバル化（グローバリゼーション）」は次のような意味でし

た。

- ・ローカル（局地的・地方固有）でないもの、ローカルでなくなる

- ・広い世界に通用するカタチに進化していく状態

- ・あるサービスが、特別な固有の手続きや、慣例・風習にとらわれずに享受できること

決して間違っていたとは認めたくはないのですが、私の定義からすると、外国人力士を受け入れることは「グローバル化」とは正反対の「ローカリゼーション」なわけで、横綱が総合格闘技のリングに上がることを「グローバル化」と呼びたいわけです。

仕事上で30年以上も前から「グローバル」という言葉を使っている職業（プログラマー）なので、少し、こだわりが強いのかもかもしれません。

この「通信」の封筒詰めと宛名シール貼りは、「障がい者の仕事をつくる」NPO法人ホーキーズの皆さんにお願いしています。一生懸命、丁寧な作業を心がけていますが、多少のずれやしわ、ゆがみなどはご容赦ください。



映画大好きの山ちゃんが、毎回、自分の言葉で執筆します。

## 母と暮せば



監督：山田洋次  
 出演：吉永小百合  
 二宮和也  
 黒木華  
 浅野忠信  
 2015年 松竹

2015年の締めくくりの作品として観ました。

山田洋次監督は、こう語っています。

作家の井上ひさしさんが“母と暮せば”のタイトルだけ残し、他界。

遺族から「遺志を継ぎ、映画にできないか」と提案され、井上さんとの友情や僕の作品歴、年齢、今という時代において、僕が作らなきゃいけない、作りたい作品なのだと引き受けました。

1948年8月9日、長崎。助産婦をして暮らす伸子（吉永小百合）の前に、三年前に原爆で亡くしたはずの息子・浩二（二宮和也）がひょっこり現れる。

伸子は呆然とした…。  
 映画でのB29による原爆投下の実写シーンがものすごく印象に残った。  
 また、吉永小百合と二宮和也の長崎弁での親子の会話もごく自然でよかった。

### くまさんの コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

## ヤジーX

### “親父バンド”の演奏会



同世代の親父バンド「ヤジーX」の演奏会に出かけた。  
 このバンドは、団塊の世代のメンバーで構成され、定期的に演奏会をおこない、そのたびに案内を受ける。  
 演奏は、なかなかの腕前で力強い。時折り繰り出されるドラムの“慶ボー”の“オヤジギャグ”も会場を沸かしている？！。

この演奏会には、近隣の市町からも同様の“親父バンド”

が出演する。  
 昨年、小城市岩蔵江里山地区の棚田フェスティバルに出かけたのも、この演奏会に出演したメンバーの一人が「そばの会」のメンバーであったことからである。

同世代のみんなが元気でがんばっている姿に共感し、励まされ、“まだまだだな”との思いを強くしている。

ことしもまた、年明けから、いくつかの事業所から仕事の依頼があった。

役に立てるのなら、ことしも精一杯やってみることとしよう。



## 編集後記

### 高校生の力作が展示



仕事の合間に島原半島美術展へ——この美術展には、島原半島にある9高校の生徒の作品が出展されていました。

いずれの作品も力作で“ほっ”とした時間でした。

若々しい作品にふれ、創作の意欲も刺激された。

今年の最初の作品へキャンバスに向かおう。

Relationship & Partnership **総研**  
**ビジネス**  
**ビジネス総研株式会社**  
 福岡市博多区博多駅前4-33-11-702  
 ☎092-409-4177 FAX092-409-4170  
 Eメール [kuma@b-souken.com](mailto:kuma@b-souken.com)  
<http://www.b-souken.com>